

THB406-8Pシリーズ 取扱説明書

安全上の注意

- ・設置を開始する前に、電源を切断してください。
- ・ほこりや湿気が製品の適切な機能を損なうのを防ぐために、コネクタが接続されていないときは保護キャップを使用することをお勧めします。
- ・安全性の面から、1次側をメス（ソケット側）、2次側をオス（プラグ側）になるように配線してください。
- ・保護等級の範囲内でご使用ください。

警告



コネクタには通電部品が装備されています。
コネクタは、電気および安全規制に準拠して製造されています。
システムの安全性に関する要件を尊重し、通電された部品から身を守るためのすべての安全対策を確実に実施してください。

注意

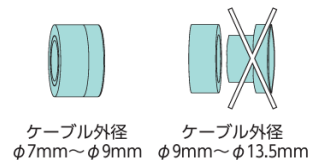
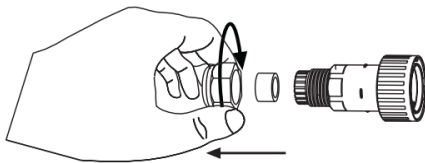


組み立てと設置前に、取扱説明書をよくお読みください。
製品の適切な機能は、これらの取扱い手順を読み、注意深く実行した場合にのみ保証されます。

作業手順

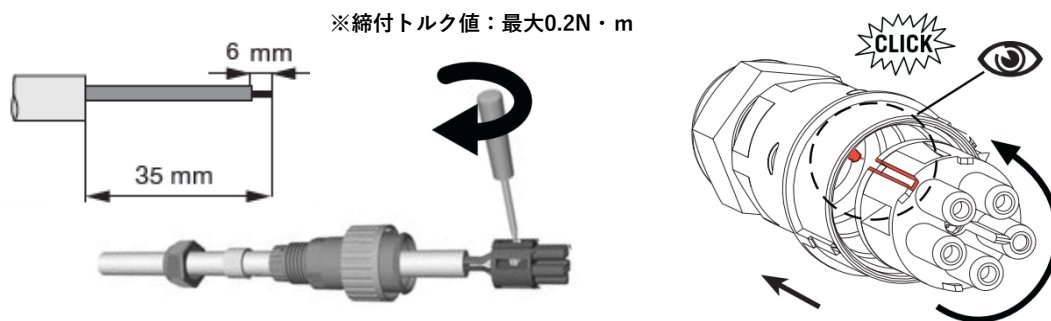
①配線の準備

キャップを緩め、ゴムブッシュを取り外し使用するケーブル外径に調整する。



②ソケットの配線と組み立て

図のように配線をして、端子ネジをマイナスドライバーにて締付ける。（ドライバー先端幅は3mmが推奨です。）
結線した端子台をハウジングに差し込む。端子台にある溝とハウジング内側の突起を合わせて挿入し、左へ回してロックする。



オプション部品 — 端子取付工具 「600052600」 の使用方法 —



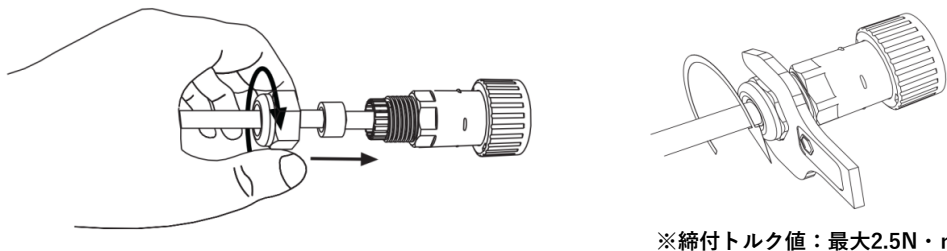
端子取付工具を差し込む

反時計回りに回して固定する

8Pの端子台を固定する際に使用する、端子台取付工具です。
端子台を本体に挿入した後、反時計回りにカチッと音がするまで回してください。

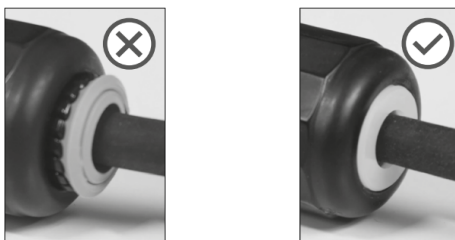
③ ゴムブッシュを奥まで確実に取付け、ケーブルグランドのキャップを締め付ける。

締め付工具「6000337BC」または、スパナ等を使用し、ケーブルが動かなくなるまで締め付ける。



④ ケーブルを締め付けた後に、ゴムブッシュが正しい位置にあることを確認してください。

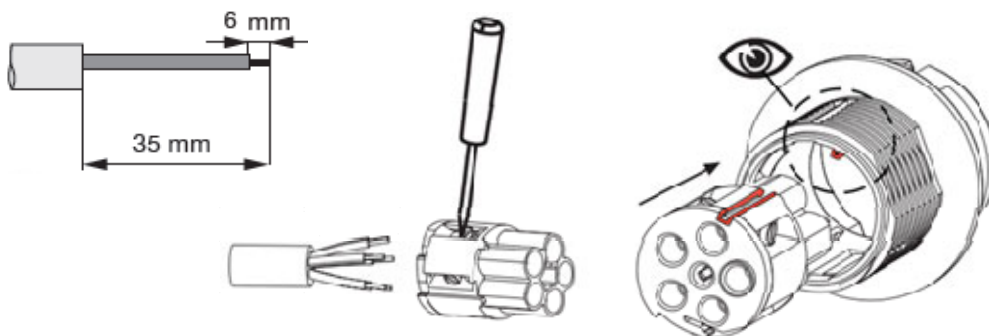
また、ケーブルの外径に合わせて適合するゴムブッシュを選定してください。オプション部品（別売）がございます。



⑤ プラグの配線と組み立て

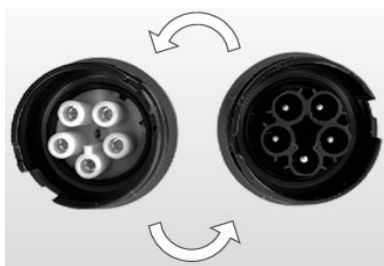
図のように配線をして、端子ネジをマイナスドライバーにて締め付ける。（ドライバー先端幅は3mmが推奨です。）
端子台にある溝とハウジング内側の突起を合わせてクリック音がするまで、挿入する。

※締め付トルク値：最大 $0.2\text{N} \cdot \text{m}$



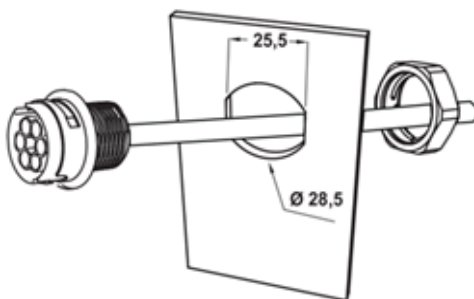
※ソケット側とプラグ側：端子台の入れ替え

付属の端子台はパネルマウント側とケーブル側で、入れ替えて使用することが可能です。



⑥ プラグ側を付属のナットで、パネル等に取り付ける。

あらかじめ取り付けられたプラグ側（パネルマウント側）を取付穴に挿入して付属ナットで締め付ける。



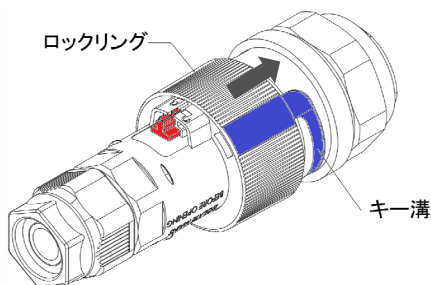
⑦プラグ側とソケット側を取付ける。

※ソケットとプラグは、本体にある矢印マークを目印にして差し込んでください。

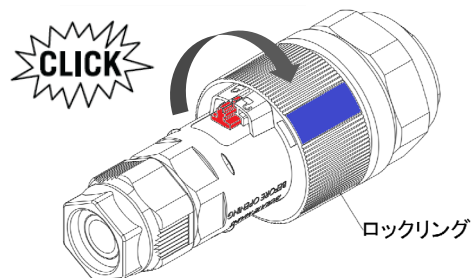


⑧ロックリングを固定する。

⑧-1 ロックリングの位置を「キー溝」の位置に合わせて矢印の方向に差し込む。



⑧-2 ロックリングを矢印方向に回し固定をする。



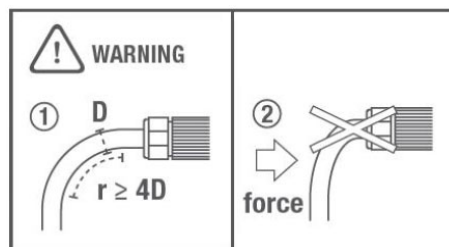
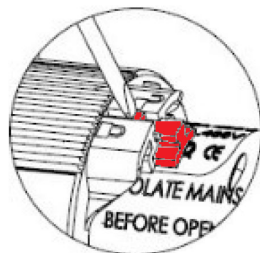
⑨ロックスライダー（赤い部品）を矢印の方向へ押す。

「カチッ」と音が聞こえたり、感触があればロック完了です。



ロックの解除方法

マイナスドライバー等で、ロックスライダー（赤い部品）をゆっくりと引き出して、ロック解除位置にします。



- ① 配線時、ケーブルの曲げ半径はケーブル直径の4倍以上にしてください。
- ②-1 コネクタに衝撃が加わらないように使用して下さい。
- ②-2 防塵・防水性能を損なう恐れがありますので、ケーブルが曲がるような外力を受けないようにしてください。